



## 取手駅 西口開発

# 行き詰まる「A街区再開発」

## 取手市に反省なし

混乱と分断をもたらした  
「図書館等複合公共施設導入方針」



再開発参加用地（中央高台の造成地・不参加用地（右側）も駐車場整備ラッシュのA街区）も5月13日撮影

5月8日、取手駅前開発を考える会（遠藤俊夫代表）は、都市計画決定の停止・見直しに追い込まれた「A街区再開発事業」に関し、取手市都市整備部へのヒアリングを行いました。

同開発事業の停止・見直し方針に至る経過と検証について、準備組合の「一部地権者が事業離脱で、面積は縮小、都市計画決定は見直したい」との要求により、市は、「計画決定の停止を判断した」と答えました。

### 西口開発 「A街区再開発」の歩み

- 2013年 地権者同意整わないままA街区建物解体開始
- 2017年 事業計画立案支援業務委託報告発表（取手市）
- 2019年 再開発準備組合設立  
地権者20人（7000㎡）
- 2024年3月  
再開発に「図書館等複合公共施設導入方針」発表  
再開発事業参加地権者は8人（6000㎡）
- 2025年2月 都市計画決定停止  
参加地権者8から7人（5000㎡）
- 3月 再開発都市計画見直しへ  
準備組合参加7人（5000㎡）  
（市は、「図書館等複合公共施設整備計画」を堅持し再開発に合わせ見直す方針）

昨年3月、再開発ビルへの「図書館等複合公共施設導入方針」が、市民の合意形成ばかりか、図書館・教育委員会などでの検討もなく計画発表。そのことが「地権者離脱の要因か」との問いに、市



都市整備部にヒアリングする取手駅前開発を考える会（左端）加増みつ子議員、（右端）本田かずなり議員

は「それは当たらない」と計画と進め方を正当化しました。しかし、再開発への参加は、当初の20人から8人に、さらには7人へ、市のトップダウンの計画策定と発表が、地権者間の合意を一層困難にしました。駅前の賑わいを願うなら、地権者も市民も分断でなく十分な情報の共有と合意が大事です。

日本共産党は、市民・地権者の合意に基づく駅前整備を求めます。

## 日本共産党議会報告&懇談会開く

### コメ・物価高、給食無償化、医療、公共施設運営、開発と図書館等で意見交換

日本共産党取手市議会議員団は、各地の党支部・後援会主催の報告会に続き、5月11日福祉交流センターで、加増・遠山・本田議員そろって議会報告と懇談会を行いました。

議員の、504億円の取手市予算の特徴、請願と意見書、一般質問の主な内容等報告の後、参加者から活発な質問や意見が出されました。その一部を紹介します。

議会報告と懇談会参加者ら5月11日、福祉交流センター



#### 学校体育館にエアコンが設置される時期と予算は

小中全校合わせて18億円、本年度工事、稼働時期は来年度から

#### ネーミングライツ事業に企業との癒着はないか

公的施設・社会教育施設にはなじまない

#### 西口開発での図書館構想に反対しているのに、「身近なところに図書館を」の請願は賛成する。その理由は？

西口開発に公共施設導入は反対。駅前に一極集中の図書館建設より、地域の中に図書館が欲しいとの市民要

望は強い。公民館にある図書室を使いやすく改修し、地域の図書館として活用すべきと考える。

#### 各小中学校の図書館に司書は配置されているか

長年私たちも要求してきたことで、現在はすべての学校に配置されている。待遇は会計年度職員となっている。正規職員を要望している。

#### 带状疱疹ワクチンについて

今年度から国が制度化し、市は国の定める定期接種対象者に加え、市独自の接種対象者に公費助成を行う。

#### 選定療養費について 病院に搬送された時点での 緊急性・医師の判断とあるが、どうなのか

県のガイドラインが出ているが、県医師会のアンケートでは60%周知不足と回答している。現場の医師の判断に任せる運用の問題も大きい。

#### 請願の耕作放棄地について 共産党は賛成しているが、耕作放棄地をもとに戻すには無理がある。どういふことか。

コメ不足のもと、いかにコ

メの作付を多くするか、その一つとして耕作放棄地の活用もある。「農政の活性化を」この議論が大事と考える。

#### 要望・意見では

・学校給食の無償化を促進してほしい。子育て支援の一環である。

・物価高・コメの高騰で暮らしを守る対策、税金の使い方を正しくしてほしい

・西口・桑原開発の状況について、市は正直に市民に知らせるべき・・・ など

### 5月3日 憲法フェスティバル in水戸

## アメリカ言いなり・軍事拡大ストップ、9条外交を

憲法記念日を前に5月1日、日本共産党加増みつ子・遠山ちえ子・本田かずなり取手市議そろって市内各地で街頭演説をしました。トランプアメリカ言いなりに、国民の暮らしを顧みず軍事拡大に走る石破自公政権を批判。日本共産党の躍進で「憲法9条を生かした外交で平和な日本へ」と、近づく参院選で日本共産党への支持を訴えました。



戦争準備の軍備拡大でなく、憲法を活かし平和の準備を... 誓いを新たに、憲法フェスティバル=5月3日、水戸千波公園

沖縄国際大学大学院教授前泊博盛さん講演

### ～新しい戦前より 永遠の平和を～

憲法記念日は、全国各地で憲法を守り平和を願う集会などが行われ、県内では、水戸千波公園で憲法フェスティバル（実行委員会主催）が開催されました。「戦後80年～新しい戦前より永遠の平和を～」というテーマで、20団体、800人が集いました。

**戦後80年**

参加者は、9条の会、被曝者と語る、沖縄連帯、労働・年金相談、えん罪なくせ等、様々な団体のテントで語り合い交流を深めました。

沖縄国際大学大学院教授前泊博盛さんの「沖縄戦から80年— いま再び迫る戦争の危機。際限なき軍拡阻止のための沖縄からの警告」と題する記念講演。辺野古基地建設の強行、台湾有事に備えるとして基地増強が進められる現地の様子が詳しく語られ、戦争にならない平和を守る道を強調されました。

最後に、参加者全員で「沖縄を再び戦場にするな」「軍拡より米を食わせろ」とアピールしました。フェスティバルには、取手からも「とりで9条の会」「平和委員会」「新日本婦人の会」本田かずなり市議らが参加しました。



憲法記念日を前に街頭で訴える (左から) 遠山・本田・加増市議

### 日本被団協・ノーベル賞受賞を受けて

### 若者シールアンケート

### 日本共産党実施

シールアンケートで青年と対話する党市議会議員ら =4月28日、取手駅東口



学費値下げ、最賃上げで... 切実な要求次々

日本共産党は、皆さんの声を政策に反映させるために、全国で要求アンケートを実施しています。その一環で、高校生や大学生など、若い方々の要求を聞こうと、4月28日取手駅前に関心項目にシールを貼るアンケートを行いました。

皆さんから気軽に、たくさんの要求を寄せて頂きました。一番多いのは、「学費を下げ」というもの。「進学で高い学費に親の負担が重くなる、今すぐ下げて」。ヨーロッパの大学学費無償の様子を話すと、「日本も無償にして」と。次に多いのが、時給1500円に、という要

求。専門学校に通う学生は、「ほとんどの人がバイトで、茨城の最低賃金で働いている。千葉はもっと高い。全国一律1500円になったらいい。」と話していました。共産党の政策を話し、政治に関心を持って選挙にも行ってほしいことなど話しました。

# 「取手の食と農」を考える

「食と農を考えるととりで未来プロジェクト」

根本和彦

シリーズ第6

## 映画「食の安全を守る人々」上映とパネルディスカッション

大量に農薬を使用し、遺伝子組み換えやゲノム編集食品流通など、アグリビジネスがもたらす食と農について、日本に暮らす私たちの危機感の薄く、マスコミも正面から報道することがないのが現状です。表題の映画は、民主党政権時の元農水大臣で弁護士の山田正彦氏がプロデュースしているドキュメンタリーです。アグリビジネスの一方で、持続可能な食と農を求めてたたかう人々も同時に描かれ、食と農のあるべき姿が見えてくると思います。

上映のあと、パネルディスカッションも予定しています。パネラーには、消費者の立場から「常総生協」、生産者の立場から「県南農民組合」、そして「本田かずなり市議」の栃木県小山市視察報告3人を予定で行います。「食と農」についてみんなで真剣に考えたいと思います。

日時：5月24日(土) 13時30分～  
場所：取手市福祉会館小ホール  
参加費：500円

主催：食と農を考えるととりで未来プロジェクト  
代表 根本和彦 090-6471-7090

**3週間無料お試しキャンペーン**

あなたの「知りたい」がわかる しんぶん赤旗 毎日電子版

スマホからは QRコードを読み込んでください



**日本共産党**

「あなたの声を届けます」

要求アンケート 2025 実施中

あなたの願いをぜひお寄せください。 Webからも回答できますこちらからアクセスしてください。

